

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：2月ユーロ圏PMI指数(速報)

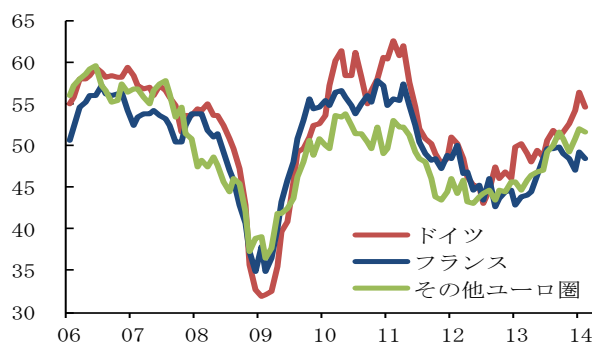
発表日：2014年2月20日(木)

～自信喪失気味のフランス～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

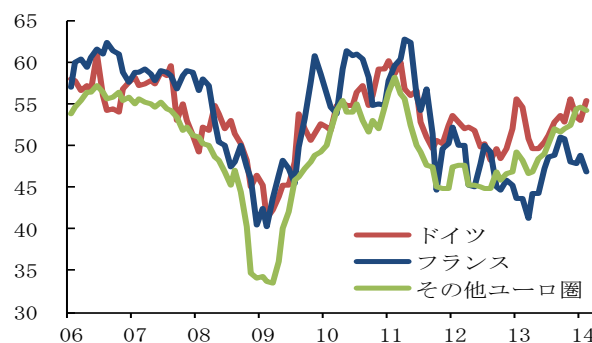
- ・ 2月のユーロ圏のPMI総合指数(速報値)は52.7と8ヶ月連続で好不況の分岐点を上回ったが、今次サイクルのピークを記録した前月(52.9)から改善モメンタムがやや鈍化。国別・業種別の内訳は、ドイツで製造業の改善モメンタムが鈍化した一方、サービス業の改善モメンタムが加速。フランスは製造業・サービス業が何れも前月から低下し、各々24ヶ月・4ヶ月連続の50割れ。その他ユーロ圏の詳細は明らかにされていないが、製造業・サービス業ともに前月から改善モメンタムが鈍化した模様。
- ・ 発表元のMarkitによれば、同指数の水準からは1-3月期の実質GDP成長率がユーロ圏で前期比+0.5%程度、ドイツで同+0.7%程度、フランスでマイナス成長に再転落、その他ユーロ圏で成長が加速することが示唆される。但し、最近ではPMI指数が実質GDP成長率と比べて上振れ気味。
- ・ 新興国の動揺や米中景気の減速懸念などが製造業の業況の重石となっている。ドイツでは良好な雇用・所得環境を反映し、サービス業の業況が上向いている。フランスでは年初に企業負担軽減策が発表され、前月に業況が全般に上向いたが、早くも期待が剥落。イタリアはレンツィ次期首相の下で改革が前進すると期待が業況改善を後押ししている模様。1月の確報段階では、スペインの産出指数が78ヶ月振りの水準に改善し、ギリシャの製造業指数も2009年8月以来となる50超を記録していた。新興国不安の最中であって全体の数字は底堅さを保っているが、フランスの業況再悪化は気懸かり。

■ユーロ圏：PMI製造業指数



出所：Markit

■ユーロ圏：PMIサービス業指数



出所：Markit

■PMI指数(季節調整済み)

	2013				2014							
	1Q	2Q	3Q	4Q	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ユーロ圏 総合産出指数	47.7	47.8	51.4	51.9	50.5	51.5	52.2	51.9	51.7	52.1	52.9	52.7
製造業PMI指数	47.5	47.9	50.9	51.9	50.3	51.4	51.1	51.3	51.6	52.7	54.0	53.0
サービス業業況指数	47.6	47.5	50.9	51.3	49.8	50.7	52.2	51.6	51.2	51.0	51.6	51.7
ドイツ 製造業PMI指数	49.7	48.7	51.2	52.9	50.7	51.8	51.1	51.7	52.7	54.3	56.5	54.7
サービス業業況指数	53.8	49.9	52.6	54.0	51.3	52.8	53.7	52.9	55.7	53.5	53.1	55.4
フランス 製造業PMI指数	43.6	46.4	49.7	48.2	49.7	49.7	49.8	49.1	48.4	47.0	49.3	48.5
サービス業業況指数	42.9	45.3	49.5	48.9	48.6	48.9	51.0	50.9	48.0	47.8	48.9	46.9

出所：Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。